

# 不易流行

～和賀組社長からのメッセージ～

VOL.34 (2019.1.28)

平成30年度スローガン  
みんなで目指す顧客感動経営  
140年企業としての誇り  
～和賀組さんで良かったと言われよう～

株式会社和賀組 代表取締役 和賀幸雄

皆さん明けましておめでとうございます。今年も一年間どうぞよろしく願い致します。さて当社にとって今年はどうなるのでしょうか。外部環境を考えると10月の消費増税による影響が不確定要素とは言えますが、1%程度の経済成長が見込めるとされており、秋田県内においても個人消費や公共・住宅・設備の各投資も増加基調にあり、県内景気は回復しているとの概況が昨年日銀秋田支店より発表されております。

地元では5月にいよいよ湯沢地熱山葵沢発電所が運転を開始します。また東北自然エネルギー下ノ袋発電所は今年長期噴気試験に臨み、小安地域では出光興産の試験井の掘削が進んでおります。東北中央自動車道は昨年全線事業化が決定、横堀道路及び真空川雄勝道路の工事が本格化します。また成瀬ダムは昨年本体工事に着手、今年の雪解けを待って1千人を超える従事者が集まることとなります。これらの大型プロジェクトが地元にもたらすフロー効果としての経済波及効果は絶大であり、人手不足感が解消することはまず無いと言えます。また一昨年の雄物川豪雨災害の復旧工事も大幅に来年度に繰越すことが決定しており、県南の土木工事を取り巻く環境は繁忙さを極める状況が予想されます。

当社の状況も次年度への繰越工事が過去最高になる模様で、土木・建築共に来期はこれまでにない仕事量が予想されております。土木は山葵沢の外構工事の仕上げが雪解けを待ってスタートしますし、建築も山葵沢でRCとS造の2棟、さらには鶴泉荘の解体工事も春から本体の解体が始まります。また昨年末には30年度の国の補正予算が成立しており2月から3月にかけてゼロ国債の工事が発注見込みとなっております。さらに国は発注の平準化を進めていることから31年度予算の成立を待ってコンサルへの発注が始まり、6月から7月には工事発注のピークを迎えるものと思われます。R+ハウスもいよいよ軌道に乗り出した感があり、3棟が受注済みで繰越工事となっており、さらに期中の受注も見込まれる状況にあります。

「日本資本主義の父」と言われた渋沢栄一(しぶさわ えいいち)は、著書「論語と算盤」の中で、「およそ人の禍の多くは“得意時代”に萌(きざ)すもの」と記しております。「得意時代にこそ気をつけなさい」ということでしょう。また一方で“失意時代”は小事も良く心するが、多くの人は“得意時代”には小事に対し軽侮的態度をとりがちである」とあります。小事に対しても大事と変わらぬ心掛けをしなければ、思わぬ結果を招いてしまうのだと戒めているのです。「凡事徹底」基本に忠実に行動し、常にやるべきことを行い、特にこのように業績が好調な時にこそ、安全管理には十二分に留意して頂きたいと思えます。またインフルエンザが大流行しております。春は確実に近づいています。手洗いうがいを励行し、十分に休息を取り健康管理にも十分に留意してこの冬を乗り切りましょう。5月からは新しい元号の時代、全員で新しい時代の和賀組を作り上げるべく挑戦して参りましょう。

## J-POWER 様訪問

12月25日、湯沢地熱様の親会社で東京銀座にある電源開発(株)様を訪問致しました。湯沢でお会いたした北村会長をはじめ、伊藤火力建設部長、佐藤土木建築部長などにご挨拶できました。5月の稼働に向けて宜しとの事でした。



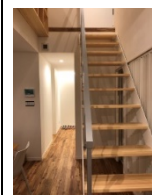
## 出前企業説明会

1月11日、横手清陵学院高等学校で開催された出前企業説明会に参加してきました。土木建築を学ぶ2年生約25名を前に、丹さんと平塚君と私で会社の説明を致しました。来年の春に入社希望の生徒がいればありがたいです。



## R+ハウス秋田北モデルハウス完成

湯上市に建築中だったモデルハウスが完成しました。外構工事が未着



手なのでプレオープンでしたが、昨年末には多くの来場者で賑わいました。春のグランドオープンが待ち遠しいです。